

第55回神奈川建築コンクール 一般建築部門 最優秀作品選評

「DNP 創発の杜 箱根研修センター第2」 審査委員 大原一興

まず、計画・設計の経緯とそれに費やした努力が高く評価される。本プロジェクトにはおよそ2年間を費やして設計し、構造、設備に限らず、ランドスケープ、家具、ライティングなど、建築を構成するための多様な専門職種との協働によって建築を実現させた。さらに、施主である印刷会社のプリント技術を活用した内外の壁面パターンもこの共同作品に欠かせない要素となっており、もはや単に施主と設計者との関係とは言えない一体的な協働関係が、この建築作品を実現したとも言える。設計者は、見事なまでの力量によって、その監督や指揮者としての役割を發揮し、全体をまとめあげた。2004年にはじまった隣接敷地におけるプロジェクトに引き続いて関わり続け、施主とのきわめて良好な関係構築と幾度となく繰り返された議論の末に、「創発のための環境づくり」が綿密に練られていった。幸福な協働の結果として実現したこの建築のデザインの密度はきわめて高い。

敷地の国立公園との性格上、外観上の工夫も徹底している。2階建てに高さを押さえながらも、敷地の高低差を巧みに活かして、必要な空間のボリュームを確保しており、内部空間は決して平板ではなく垂直の広がりも十分感じさせている。屋根形状もまた、周囲を圧迫しないように、あらゆる角度から見られることを考えられており、一見単純な形状に見えるプランからはとても予想できないような複雑な屋根形状になっており、環境に溶け込んだ風景を創出している。周辺環境に対する景観的配慮に加えて、生態環境への配慮として、敷地内で雨水を処理し樹木・植物を敷地外から持ち込まず持ち出さないとの配慮もなされている。